

1. 2. 3. 4.  
か かなた みみぐえ ののさず みみめあ ここぬい ととしを ばばなも をとるて とせせか もんいみ

よれれに 聞<sup>き</sup>い につ かに来か ずよたえ かりりん みなけつ ずれがみ とはれを みあをば たたのし まらぞり

にしきぞ てくてけ 生生良ま ままきた れれたき ず変<sup>か</sup>ねを しわをめ てら<sup>ま</sup>蒔<sup>ま</sup>ざ はんかんさん みまきつ かのよみ

みみきふ のめねか みぐがき くみいと にをもき にばての はこちあ いばかい るむらせ ここのし



イエスは答えられた、「よくよくあなたに言うておく。  
だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。…」 ヨハネ 3:5  
真理によって彼らを聖別して下さい。あなたの御言は真理であります。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのため私自身を聖別いたします。 ヨハネ 17:17, 19

5

ほめ歌と祈り      れいはい  
礼拝ささげ  
この世に背をむけ      めね  
み旨にそえる→  
わざ おも      せんねん  
業と思いにぞ      専念すものは  
また あた      ひと  
全く新しき      人とぞなりなん。

7

ああわが御神よ      われはひれ伏<sup>ふ</sup>し  
なが霊<sup>れい</sup>の業を      ひたすら願<sup>ねが</sup>う。  
せいちょう めぐ      とどこお  
成長の恵み      滞らずして  
いよよ主よなれを      愛させたまえ。

6

いつしか主により      なれは変えられ<sup>か</sup>  
人はなが内に      せい<sup>う</sup>か  
聖化を見るらん。  
また みたま      みちび  
全く御霊にて      導かれゆかば  
しんこう      かざ  
信仰と愛を      なれは飾らん。

8

た  
絶えずかくわれに      祈らせたまえ：  
「おおわが御神よ      なれにとどまらん」。  
さらば世を去る日      喜びにあふれ  
とこしえ くに      うつ  
永久の国に      われは移されん。